

はじめに

村上市は、新潟県の北端に位置しており、面積1,174.26k m²のうち林野面積は85.2%を占めています。雄大な磐梯朝日国立公園と朝日連峰に抱かれた広大で豊かな本地域は「全国水源の森百選」に選ばれたブナの原生林や大自然の大パノラマなど、豊かな水資源と動植物の宝庫です。市内を流れる三面川は、鮭の自然ふ化増殖に世界で初めて成功した河川であり、江戸時代には自然保護増殖のための「種川の制」が確立され、現在では増殖技術は人工増殖に替わりましたが、本市の河川には多くの鮭が遡上しています。



市内の森林・林業は、戦後や高度成長期に植栽されたスギなどの人工林が大きく育ち、木材として利用可能な時期を迎えようとしています。長期的な林業及び木材関連産業の低迷や森林所有者の世代交代などにより、森林所有者の森林への関心が薄れ、適切に管理されていない人工林も多く、森林の有する公益的機能が十分に発揮されなくなっています。

国では、2019年度から林業の成長産業化の実現と森林資源の適正な管理の両立を図るため、新たな森林管理システムである「森林経営管理制度」をスタートしています。また、森林整備などに必要な地方財源を安定的に確保するため、森林環境税及び森林環境譲与税が創設されたことから、市では適切に管理されていない森林の整備、森林整備を担う人材育成や担い手の確保、木材利用や普及啓発等を推進していくことになりました。

今回策定した「村上市森づくり基本計画」では、豊かな森林と森林資源を後世に引継ぐため、森林資源の持続的な循環利用と持続可能な林業経営を目指しています。また、国はグリーン成長戦略として、カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現に向けて取組を進めておりますので、そうした流れにしっかりと追随できるよう本市の森林資源の活用に努めてまいります。

本計画の策定にあたり「村上市森づくり基本計画策定委員会」をはじめ、貴重なご意見、ご提言をいただきました関係機関、団体並びに市民の皆様には心から感謝申し上げます。

令和3年3月

村上市長

高橋邦芳